

平成20年度 学術委員会整形外科部会活動報告書

部会長： 福林 徹

構成員： 奥脇 透 河野照茂 三木英之, 中前敦雄 小笠原一生

1. 膝前十字靭帯損傷予防に対する取り組み

昨年作成した膝前十字靭帯(ACL)損傷予防 DVD(女子バスケット、女子サッカー、テニス、スキー)を各種講習会で本学会会員中心に配布し、スポーツ界においての外傷・障害の予防法の普及に努めた。また国立スポーツ科学センター(JISS)の協力の下、ACL 損傷での再受傷を予防する目的で「体幹バランスの獲得を重視した ACL 術後リハビリテーション法(仮称)」を DVD として作成しつつある。

また疫学調査として日本女子バスケットボールリーグ(WJBL)と日本女子サッカーリーグ(なでしこリーグ)における ACL 損傷発生頻度調査を施行した。女子バスケットボールリーグでは 2005 年~2008 年シーズンの発生数は 4 件、7 件、4 件、12 件、発生頻度(AEH)は各々 0.082, 0.059, 0.031, 0.088 となり ACL 損傷は 2007 年の予防プログラム導入後一時減少したが、2008 年シーズンではまた増加した。なでしこリーグでは 2008 年シーズン 6 例の発生があった。

2. 肉離れ予防に対する取り組み

本研究は日本体育協会スポーツ医・科学専門委員会が専門家による作業部会を組織しガイドラインを作成、日本体育協会の Sports Journal で「肉離れに関する最新の指針」として報告。

臨床スポーツ医学会はその研究を一部支援した。

